

インタビュー

参議院選挙で問われるもの

——日本の民主主義を守るために

中北浩爾・一橋大学大学院社会学研究科教授

聞き手●氷室佐由里・『月刊自治研』編集長

「新しい資本主義」を掲げる岸田政権の支持率は、

確たる成果もないにもかかわらず高い数字を保っている。

参議院選挙を間近に控え、日本における民主主義を守るために、

野党はどう動くべきなのか。そして、自治労や連合の果たすべき役割とは何か。

●岸田政権の政策

——長期政権を担った安倍政権、そしてそれを継承するとした菅政権という右派的保守政権に代わり、二〇二一年一〇月に岸田政権が発足し、半年余りが経過しました。「新しい資本主義」を掲げる岸田政権となつて、野党が掲げてきた政策と似通ってきたようにも思われます。

政権発足からの半年をご覧になって、岸田政権が進めようとしている政策をどのように評価されていますか。

安倍元総理は右寄りの保守、菅前総理はそれほど体系だつてはいませんでした。が、新自由主義的な色彩が強くと、それに對して岸田首相はリベラルと呼ばれます。昨年の自民党総裁選挙でも、リベラルな

岸田さん、保守の高市さん、新自由主義の河野さん、女性政策を重視する野田さんの四人で争われたように、岸田さんは旧来の自民党リベラルを代表していると言えるでしょう。

一方、東京工業大学教授の中島岳志さんに触発されて、ある時期以降、立憲民主党の枝野さんも「リベラル保守」、かつての自民党宏池会の立場をとると発言していました。それは国民民主党の玉木さんも同じです。右寄りの安倍政権への對抗軸として、野党側が宏池会の名前を持ち出していたので、本物の宏池会の岸田政権が誕生して、野党としては差別化がはかりにくく、攻めにくいかもしれません。

宏池会に代表される自民党リベラルの特徴の一つは、日本国憲法を尊重する姿勢です。護憲とまでは言えないけれども、国論を二分しないように日本国憲法の基本原理は変えず、憲法改正に強引には着手しないというスタンスです。また、防衛

政策についても、自制的に振る舞う。ただ、この点について、岸田総理は曖昧です。憲法改正に積極的な姿勢を示しているし、敵基地攻撃能力も検討すると発言しています。それが本心なのか、それと

も党内で大きな影響力を持つ安倍元総理への配慮にすぎないのか、今度の参院選で自民党が勝利して岸田政権が安定すれば、おのずと分かると思います。

もう一つは、経済政策を通じた国民統

合です。それは池田政権の時代には国民所得倍増計画という高度経済成長路線として現れましたが、近年、初期のアベノミクスにみられたトリクルダウンでは格差の是正効果が乏しく、分配を政策的に強化する必要があります。なので岸田政権は「新しい資本主義」という看板を掲げたのだと理解できるでしょう。分配重視から、成長と分配の好循環に後退した

という批判もなされますが、野党も分配一辺倒でいいというスタンスではないはず。岸田政権と野党の違いは、成長と分配の好循環をどういう形で実現するかではないかと思えます。たとえば、大企業・財界と一般の人々のいづれを重視するかの違いです。

安倍政権も中盤からは成長と分配の好



なかきた・こうじ●一九六八年三重県生まれ。一九九一年東京大学法学部卒業。一九九五年東京大学大学院法学政治学研究科博士課程中途退学。博士（法学）。大阪市立大学法学部助教授、立教大学法学部教授などを経て、現在、一橋大学大学院社会学研究科教授、専門は日本政治外交史、現代日本政治論。著書に『経済復興と戦後政治』（東京大学出版会、一九九八年）、『一九五五年体制の成立』（東京大学出版会、二〇〇二年）、『日本労働政治の国際関係史』（岩波書店、二〇〇八年）、『現代日本の政党デモクラシー』（岩波新書、二〇一二年）、『自民党―「強」の実像』（中公新書、二〇一七年）、『自公政権とは何か』（ちくま新書、二〇一九年）など多数。近刊に『日本共産党―中公新書、二〇二三年』

循環を掲げ、少なからぬ限界があるとはいえ、子育て支援や女性活躍などに取り組んでいました。今のところ岸田政権の「新しい資本主義」は、中期以降のアベノミクスとの違いが明確ではなく、中身もその延長線上でしかないものがほとんどです。大きな違いであったはずの金融所得課税の強化という方針は、実施が見送られたままです。

岸田首相としては、先の衆院選に続いて参院選でも無難に勝利し、安定政権をつくつた上でやりたいことに取り組もうと考えているのかもしれない。政策の実現を可能にする政治資本を蓄積するためには、参院選の勝利が必要ですから、現在の姿勢は理解できないわけではないと思います。しかし、ひよつとすると、「新しい資本主義」といった看板を掲げたものの、やりたいことが具体的にないという可能性もあります（笑）。ですから、参院選に向けて、野党はその点を徹底的に追及していくべきだと思います。